

花水木

Hashimoto Yuu

橋本 悠 (67期)

このたび、青木美佳先生よりお声がけをいただきまして、僭越ながら筆を執らせていただきました。貴重な機会をいただき、感謝申し上げます。

さて、突然ですが、皆様の趣味は何でしょうか。好きなものは多々あれど、「これ!」と言える趣味がなかった私ですが、出産・育児を機に2つの趣味ができました。今は、息子(2歳)の育児、家事、弁護士業務、委員会業務、そして趣味の“両立(?)”に奮闘しながら、毎日過ごしております。

1つめの趣味は、息子と一緒にハマっている、「消防車」です。恥ずかしながら、この年になるまで、消防車に「ポンプ車」と「はしご車」以外の種類があることを全く知らなかったのですが、消防車が大好きな息子のためにトミカや絵本、図鑑を買い集め(現在、消防車のトミカ等8台、消防車の絵本10冊、消防車の図鑑2冊を



我が家の消防車コレクション(一部)

所有しています)、某動画サイトで「消防訓練」や「緊急出動」の動画を見せていたところ、毎日、それらに囲まれて生きているうちに、だんだんと消防車の赤いボディと機能性、無駄のないフォルムの魅力に心惹かれるようになってきたのです。今では、だいたいの消防車を見れば、指揮隊車、高度救助工作車、特殊災害対策車、屈折はしご車、日本に1台しかない全地形対応車(レッドサラマンダー)、松戸市が日本で初めて導入した消防救急車、化学消防車、水槽車など、名前をすぐに言えるようになりました(皆様ご存じでしたか?)。

休日のお散歩は近所の消防署と公園、息子と絵本の中の消防車のイラストを発見して大喜び(消防車メインの絵本でなくても、意外と消防車のイラストが描かれているものです)、ハッピーセットのおまけを得るために、ハンバーガーやナゲットをひたすら食べ続けるといった具合で、日々、消防車の「推し活」を楽しんでいます。今年は、5年に一度しか開催されない「東京国際消防防災展」に参加する予定だったのですが(そしてその結果についてここで語るつもりだったのですが)、息子の体



消防署と息子

調不良で泣く泣く諦め、5年後のリベンジを誓ったところです。

気付いたら消防車の話だけでこの文章が終わってしまいそうですが、これも、子どもがいるからこそその趣味だなあと実感しています。息子がいなければ、世の中には多様な消防車があることも、某動画サイトに、消防車の緊急出動シーンだけを集めた30分の動画があることも、都内に消防車が置いてある公園(足立区の北鹿浜公園、大田区の萩中公園など)があることも、何も知らなかったと思います。

弁護士業務に役に立つかというところ、今のところ全くその気配はありませんが、こうやって自分の世界を広げていけるのは楽しく、これからも、息子と夫と楽しく消防車を推していければと思っています(今年の夏休みには、四谷三丁目にある消防博物館に行く予定です)。

さて、2つめの趣味は、某男性8人組アイドルグループの推し活なのですが、気付いたら字数が足りなくなっていましたので、こちらは、いつかまたどこかでお話しさせていただきます。 